

関西地区に初進出 「変なホテル大阪 心斎橋」開業

H.I.S.ホテルホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区 代表取締役社長：岩間雄二 以下、H.H.H.）は、2月1日（金）、大阪の中心地である心斎橋に、関西地区初の「変なホテル大阪 心斎橋」を開業いたします。これにより「変なホテル」は全国で11拠点となります。

「変なホテル大阪 心斎橋」は、心斎橋駅より徒歩約3分という場所に位置し、レジャー、ビジネス問わず全ての旅行者に向けて、より楽しく快適で安心できる滞在を提供できるように進化・変化し続けるホテルとして邁進してまいります。

① フロントは恐竜型ロボットと大自然を融合したプロジェクションマッピング

『遊び心』を取り入れ大自然を表した造作物にプロジェクションマッピングをおこない、恐竜型ロボットと融合する事でエンターテインメント性の高い演出により、楽しい宿泊体験を提供いたします。

② 快適な眠りを追求した寝具を導入

『快眠』をコンセプトにフランスベッド社と共同開発したマットレスを採用し、自然な寝姿勢で眠ることができ、目覚めの良い朝を迎えることができます。さらに、枕はリーディングカンパニーとして快眠を追求しているロフテー社を導入

③ お客様の目的によって室内の色や明るさを変えられる「Philips Hue(ヒュー)」導入

1,600万色を超える照明の色彩表現ができる「Philips Hue」により、自由自在にお好みに合わせて明かりを楽しめます。

④ 客室内タブレットサービス「tabii(タビー)」を全室導入

客室内の照明、テレビ、エアコン、レストランの混雑状況を機器と連結させ、「繋がる」を目的に一括で操作することができるIoT 連携タブレット「tabii」を全客室に完備しています。

⑤ 多言語可能なロボホンズが国内外のお客様をお出迎え

シャープ社によって開発されたロボホンズが19体でお出迎えいたします。多言語にてご挨拶や季節、時間合わせ様々なダンスを繰り広げます。

ホテルデザインは、店舗・空間デザイナーの橋本夕紀夫デザインスタジオ（東京都渋谷区）による制作でロボットによるおもてなしと有機的な『癒し』の空間で包み込むことを基本コンセプトとし、『human touch』をキーワードとし『葉』『木』『石』を連想させる素材と色彩でまとめております。また、インバウンド需要の活性化が著しい大阪の地において『日本文化の発信』も意識し、漫画の『コマ割り』や『吹き出し』を取り入れた空間にしております。

フロントロビーでは恐竜型ロボットとプロジェクションマッピングにて演出し、さらにシャープ社常設では初となる多言語可能な19体のロボホンズと3D Phantom®を融合させることで日本の最新技術と文化をお楽しみいただけます。レストランは、ブッフスタイルにてカラフルな野菜をメインとして食材を無限大に組み合わせられるお料理や「シングルオリジン」にこだわったコーヒーを召し上がれます。夜はホテルコンセプトに合わせたモヒートを中心としたオリジナルカクテルなどを提供いたします。



変なホテル大阪 心斎橋 外観(イメージ)

変なホテル大阪 心斎橋 概要 (<https://www.hennnahotel.com/shinsaibashi/>)

開業日：2019年2月1日

所在地：大阪府大阪市中央区南船場3丁目5-2

アクセス：大阪メトロ御堂筋線 心斎橋駅 クリスタ長堀北7号出口

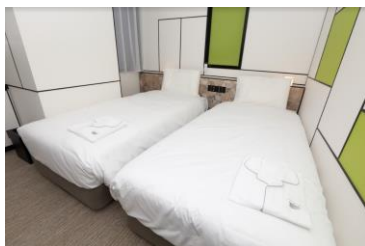
駐車場：あり（有料） / 客室数：全90室

お部屋タイプ	広さ	宿泊料金1室	部屋数
ハリウッドツイン	16.4㎡	8,550円～	20室
スタンダードツイン	16.1～16.5㎡	9,450円～	50室
ダブルルーム	15.6㎡	11,250円	10室
LGスタイラーツイン	17.6㎡	11,250円～	10室

※料金は開業記念プラン価格となります（朝食なし）



フロントプロジェクションマッピング(イメージ)



お部屋 ツインルーム(イメージ)



シャープ社 ロボホンズ(イメージ)



レストランは自然感を表したデザイン(イメージ)